


ふりがな 氏名	おおの さゆり 大野 さゆり	都道府県	京都府	
所属/肩書	<ul style="list-style-type: none"> ・オムロン株式会社 IAB カンパニー人財戦略室 ・BRIDGE Institute 			
私のESD活動	国際教育の理論を自ら学び、実践すると同時に、対外的にも学び合いの機会を提供する			
ESD活動を表すキーワード	自分らしく	きらきら	わくわく	

活動の概要（特に、取り組みの独創性、革新性、成果について説明してください）

グローバル人財育成の取組みを、より多くの人へ拡げること、また、個々の取組みを、相互の学び合いを通じてより良いものしていくことを目的に、2013年にBRIDGE Instituteという団体を設立しました。まず、高校・大学・企業などの枠を越えて人財育成の取組みを学び合う場を提供する点がイノベーティブです。さらに、40代から20代まで幅広い年代の運営メンバーが、年齢に関わらず対等な関係で運営している点も、イノベーティブです。

対外的には、2014年夏に2泊3日の合宿型研修を京都で開催し、25名に参加いただきました。教育従事者から学生まで、住まいも関東から沖縄まで多様な参加者に恵まれ、好評に終わりました。2015年以降も継続して開催予定です。

対外的に学び合いの場を提供するためには、運営メンバーのスキルアップも不可欠です。そのために年間4回の合宿型勉強会を開催し、メンバー間の学び合いを行っています。

意欲のある人に対しては、できる限り多く学び合いの機会を提供したい、という思いから、書籍の出版や団体の法人格取得なども視野に入れ活動中です。

・BRIDGE Institute <http://applygobridge.wix.com/bridge>

ESD活動をさらに深めるために、今後どのような活動を展開していこうと考えていますか？

現状では、主に次の3つですが、このコンファレンスを通じ、新たな活動のアイデアが生まれればと考えています。

1: BRIDGE Institute の活動 2: 自社内の人財育成 3: 身近な人の背中を押すこと

3について補足します。私は、日本の学校に溶け込めずに精神病になり高校を中退している一方で、内閣府等が主催する国際的なプログラムへの参加経験が複数あります。この特異なバックグラウンドが故、ひきこもりの息子を持つ50代、働きすぎでメンタルダウンをした40代、海外から帰任後、娘が日本の幼稚園に溶け込めず悩んでいる30代、日本で苦勞しながら働く20代外国人など、様々な人が相談に来てくださいます。そういった方々一人ひとりに対し向き合い、認め、背中を押すことができればと常に考え活動していますし、今後も継続します。